

# 点検・工事見積システム 簡易操作マニュアル

## もくじ

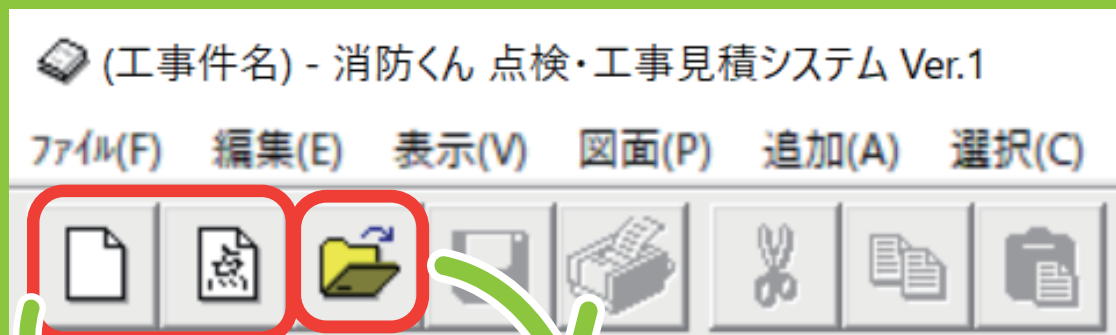
- |              |          |
|--------------|----------|
| 1. データ呼び出し   | 6. 出精値引き |
| 2. 基本情報設定    | 7. 保存    |
| 3. ショートカット紹介 | 8. 印刷    |
| 4. 工事項目と部材   |          |
| 5. 他項目の挿入    |          |

### ● 点検・工事見積システム作業チャート



# 1. データ呼び出し

## ・新規作成、開く



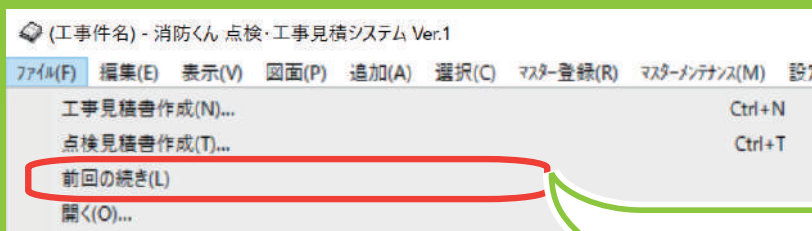
- 工事見積書の新規作成
- 点検見積書の新規作成

参照設定しているフォルダを開き  
保存してある見積を呼び出します

## ・前回の続きから



見積作成の際、見積データは  
「新規作成」の他に「開く」「前回の続き」  
から呼び出すことができます。



前回点検工事見積もりシステム起動時に  
最後に保存した見積データを呼び出します。

## 2. 基本情報設定

見積書作成に関する基本情報を入力します。すべての項目を埋めなくても【次へ】をクリックすることで次の工程へ進むことができます。

物件情報の設定

①成日付(M): 2 年 6 月 1 日 今日 表示切替

物件名(K): ② ...

場所(P): ③

顧客名(O): ④ ...

担当者(T): ⑤ ...

所属(S): ⑥

有効期限(U): ⑦

備考(O): ⑧

見積番号(E) ⑨ 30-K0035 ← 30-K0036 ...

☐ 見積番号は顧客毎にカウント(B)

⑩ ☒ 見積番号自動設定(A)

☒ 日付自動設定(D)

次へ(N) > キャンセル ヘルプ(H)

- |                                  |               |
|----------------------------------|---------------|
| ① 作成日を設定できます                     | ⑥ 顧客担当者の所属先   |
| ② 物件もしくは工事内容名<br>※見積保存ファイル名となります | ⑦ 見積書の有効期限    |
| ③ 点検・工事を行う場所                     | ⑧ 備考欄に記入したい文字 |
| ④ 顧客名                            | ⑨ 見積書に記入する番号  |
| ⑤ 顧客の担当者名                        | ⑩ ⑨、①に関する自動設定 |

## 2. 基本情報設定

見積ごとに単価、原価率の設定や見積条件の設定を初めに行うことができます。  
【次へ】をクリックすることで次の工程へ進むことができます。

見積単価半・原価半の設定

マスター名(M):  1/2

単価率リスト(L):

	項目名	見積単価率(%)	原価率(%)
1	電線管類	100	100
2	管路材・ダクト類	100	100
3	ボックス類	100	100
4	電線類-1	100	100
5	電線類-2	100	100
6	配線器具-1	100	100
7	配線器具-2	100	100
8	配線器具-3	100	100
9	配線器具-4	100	100
10	配電機器	100	100
11	材料費控除率、処分費率	100	100

変更(U)... 単価率情報(I):

## ・見積単価率・原価率の設定

部材の基本単価に対して、見積単価と  
実行単価の値を変更することが出来ます。  
右下にある【名前を付けて保存】をクリック  
することで変更した見積単価率を登録する  
事ができます。

見積条件の設定

諸経費(S)

名 称	見積経費		実行経費	
<input checked="" type="checkbox"/> 運 搬 費	0.00	% ▾	0.00	% ▾
<input checked="" type="checkbox"/> 諸 経 費	0.00	% ▾	0.00	% ▾
<input checked="" type="checkbox"/> 申請手続費	0.00	% ▾	0.00	% ▾
<input type="checkbox"/>	0.00	% ▾	0.00	% ▾
<input type="checkbox"/>	0.00	% ▾	0.00	% ▾
<input type="checkbox"/>	0.00	% ▾	0.00	% ▾
<input type="checkbox"/>	0.00	% ▾	0.00	% ▾
<input type="checkbox"/>	0.00	% ▾	0.00	% ▾
<input checked="" type="checkbox"/> 消 費 税	8.00	% ▾	8.00	% ▾

見積条件経費率の金額補正(C): 補正無し ▾

金額(M)... 数量(D)... その他(O)... 雑材料(Z)...

< 戻る(R) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ(H)

## ・見積条件の設定

総括表の諸経費の設定を行います。  
最大9項目まで設定することができます。  
また、設定は率ではなく任意の金額を入力する事も出来ます。

◆ 消防くん 点検・工事見積システム Ver.1

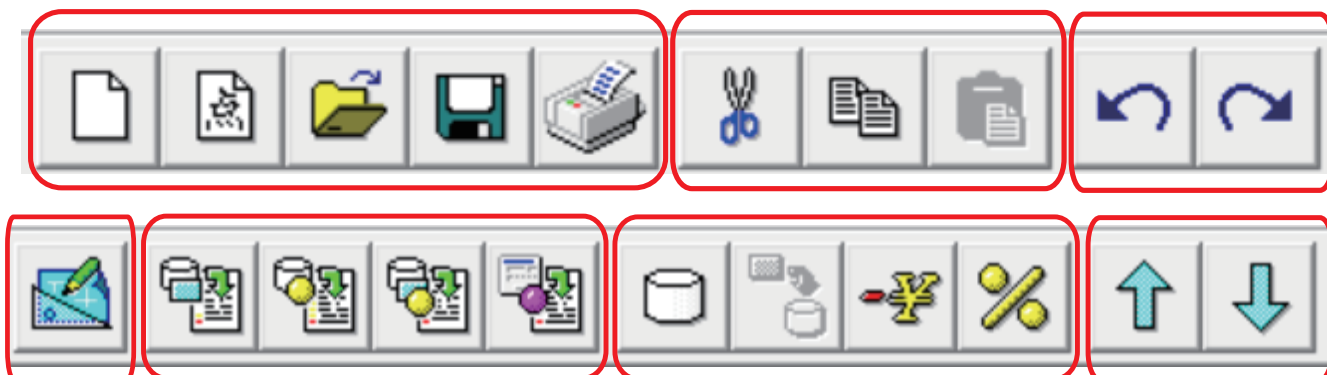
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 図面(W) 追加(A) 選択(Q) マスク登録(R) マスク解除(L) 設定(S) ヘルプ(H)

	名称	数量	単位	番号	名称	規格	単位	見積数量	見積単価(機器)	見積金額(機器)	見積単価(総合)
1				1	運搬費		式	1		0	
2	● 運搬費	1	式	2	諸経費		式	1		0	
3	● 諸経費	1	式	3	申請手続費		式	1		0	
4	● 申請手続費	1	式	4	消費税		式	1		0	
5	● 消費税	1	式	5	総合計					0	
8	● 総合計				- データの終了 -						

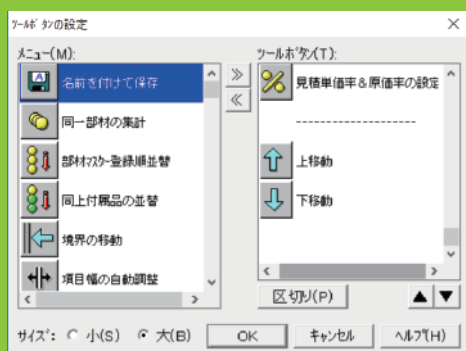
< 見積金額 機器点検: 0      総合点検: 0      総合計: 0  
 諸員平均 0      0      0

基本情報設定を元に  
新規の見積データが作られました

### 3. ショートカット紹介の紹介



	・工事見積書の作成		・元に戻す		・部材マスタ
	・点検見積書の作成		・やり直し		・部材マスタから選択
	・見積書データを開く				・出精値引きの設定
	・保存		・図面拾い出し		・見積単価率・原価率の設定
	・印刷				
	・切り取り		・工事項目マスタから選択		・上移動
	・コピー		・部材マスタから選択		・下移動
	・貼り付け		・部材マスタから項目選択		
			・諸経費・諸項目		



#### ・ショートカットの設定方法

【表示】→【ツールボタンの設定】からよく使うショートカットを配置することが出来ます。左側の設置したいアイコンをクリックして»マークをクリックすると右に移動します。OKを押すと編集が反映されショートカットが画面に表示されます。

## 4. 工事項目と部材

点検・工事見積もりはマスターから工事項目や部材を呼び出したり  
直接手打ちで項目を記入することで見積書を作成することが出来ます。  
また、独自の部材を項目をマスターに登録することも可能です。

火災報知器修復工事 - 消防くん 点検・工事見積システム Ver.1

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 図面(P) 追加(A) 選択(C) マスター登録(R) マスターメンテナンス(M) 設定(S) ヘルプ(H)

番号	名称	規格	単位	見積数量	見積単価	見積金額	実行数量	実行単価
1	火災報知器修復工事							
2	住宅用消火器及び簡易消火器具		式	1.00				
3	スプリンクラー設備		式	1.00				
4	パッケージ型消火設備		式	1.00				
5	【管内・ダクト内】		式	1.00				
6	同住宅用自動火災報知設備		式	1.00				
7	消火設備練習		式	1.00				
8			式	1.00				
9	運搬費		式	1.00				
10	諸経費		式	1.00				
11	申請系統費		式	1.00				
12	消費税		式	1.00				
13	総合計							
	- データの終了 -							

見積金額: 1,064,557 実行金額: 938,146 粗利: 126,411

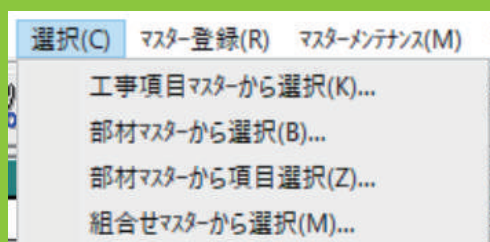
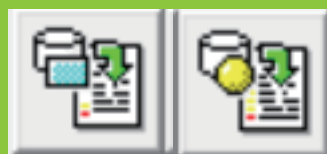
### ・工事項目

部材を入れているフォルダのようなもの  
作業に使う材料や費用などをまとめている

### ・部材

工事の時に使う材料、素材

## ・工事項目、部材の呼び出し方



工事項目や部材はウィンドウ上部のメニューバーの  
【選択】から各マスターの選択を行うかツールバーから  
対応したアイコンをクリックする事でマスターの  
選択画面を呼び出す呼び出すことができます。  
また、メニューバーの【追加】からは空の工事項目や  
部材を挿入することが出来ます。

## ・工事項目、部材の登録方法

点検・工事見積もりは工事項目の中に必要な部材や経費を組み合わせた設定をマスターに保存することが出来ます。以降は保存した工事項目を選択すると部材が入った状態で呼び出すことが出来るようになります。

工事項目マスターから選択

グループ(G): **グループ1** ①

工事項目リスト(L):

	名称	数量	単位
②	屋内消火栓設備	1.000	式
2	消火器及び簡易消火器具	1.000	式
3	住宅用消火器及び簡易消火器具	1.000	式
4	パッケージ型消火設備	1.000	式
5	スプリンクラー設備	1.000	式
6	共同住宅用スプリンクラー	1.000	式
7	パッケージ型自動消火設備	1.000	式

追加(A)... 変更(U)... 削除(D) OK キャンセル ヘルプ(H)

## ・工事項目の登録

①のグループから工事項目のリストを選択します。次に②の部分から工事項目を選択し③部分に部材など必要な項目を入れていきます。入力が完了したら④の【マスター登録】をクリックし、工事項目を登録します。

④

	名称	規格	単位	見積数量	見積単価	見積金額	実行数量	実行単価	実行金額
③	屋内消火栓設備								
1	● P型1級 受信機 50回線 壁掛型	1PV0-50L	台	3.00	1,200,000	3,600,000	3.00	231,000	693,000
2	● 進PⅢシステム用P型1級受信機 5回線 壁掛型	FAPJ105S-R-5LT	台	6.00	858,000	5,148,000	6.00	214,500	1,287,000
3	● P型2級受信機 5回線 壁掛型	FAPJ202-R-5LT	台	7.00	185,000	1,295,000	7.00	46,250	323,750
4	● 小 計					10,043,000			2,303,750
5	□								
6	□								
7	● P型1級 受信機 50回線 壁掛型	1PV0-50L	台	3.00	1,200,000	3,600,000	3.00	231,000	693,000
8	● 進PⅢシステム用P型1級受信機 5回線 壁掛型	FAPJ105S-R-5LT	台	6.00	858,000	5,148,000	6.00	214,500	1,287,000
9	● P型2級受信機 5回線 壁掛型	FAPJ202-R-5LT	台	7.00	185,000	1,295,000	7.00	46,250	323,750
10	●		式	1.00	10,000	10,000	1.00	0	0
11	●		式	1.00	20,000	20,000	1.00	0	0
12	●		式	1.00	30,000	30,000	1.00	0	0
13	●		式	1.00	4,900	4,900	1.00	0	0
14	●		式	1.00	4,000	4,000	1.00	0	0
15	● 小 計					10,111,900			2,303,750
16	□								
17	□								
18	● 労務費		式	1.00	19,000	6,710,000	1.00	10,000	3,530,000
19	● 合 計					26,884,900			8,137,750
20	- データの終り -								

見積金額: 384,167 実行金額: 341,038 粗利: 43,148

工事項目をマスターへ登録

工事項目(⑥) 屋内消火栓設備入力済み

⑦ ▼登録(R)

工事項目マスター

グループ(G): ⑤ グループ3

項目工事リスト(L):

- 屋内消火栓設備SAMPLE
- 屋内・屋外消火栓設備
- 屋内消火栓設備test
- 泡消火設備練習

閉じる ヘルプ(H)

⑤で保存先のグループを選択し⑥の部分から工事項目に名前を付けます。⑦をクリックすることで登録することが出来ます

工事項目マスターから選択

グループ(G): **グループ3**

項目リスト(L):

	名称	数量	単位
	屋内消火栓設備SAMPLE	1.000	式
	屋内・屋外消火栓設備	1.000	式
	屋内消火栓設備test	1.000	式
4	泡消火設備練習	1.000	式
5	屋内消火栓設備入力済み	1.000	式
	- データの終り -		

追加(A)... 変更(U)... 削除(D) OK キャンセル ヘルプ(H)



## ・部材の登録方法

特定のメーカー商品など、よく使う部材はマスターに登録しておくことで入力の手間を削減することが出来ます。登録方法は二種類、既存のマスターに追加で登録する方法と新規にマスターを作成する方法です。

Master Selection dialog box. Fields include: Master (L): 工事用マスター, Major Item (D): 電線管類, Minor Item (C): 電線管 C P. Buttons: 追加(A), 編集(E), 検索(S), マスターメンテナンス(2), 選択(E), 戻る(R).

コード	名称	規格	単位	基本単価
100001010001	電線管	CP 19mm	m	87.0
100001010002	電線管	CP 25mm	m	123.0
100001010003	電線管	CP 31mm	m	164.0
100001010004	電線管	CP 39mm	m	197.0
100001010005	電線管	CP 51mm	m	292.0
100001010006	電線管	CP 63mm	m	445.0
100001010007	電線管	CP 75mm	m	546.0

## ・既存のマスターへ追加登録

①追加登録したいマスター、大項目、小項目を選択し、部材を表示します。次に、②部分の【マスターメンテナンス】のボタンをクリックし部材マスターメンテナンスを呼び出します。

Master Maintenance window. Fields include: 名称, コード, 規格, 単位, 基本単価, 歩掛1, 歩掛2. Buttons: ④, ③ (データの終わり).

コード	名称	規格	単位	基本単価	歩掛1	歩掛2
100001010001	電線管	CP 19mm	m	87.0	0.052	0.062
100001010002	電線管	CP 25mm	m	123.0	0.070	0.084
100001010003	電線管	CP 31mm	m	164.0	0.089	0.107
100001010004	電線管	CP 39mm	m	197.0	0.109	0.131
100001010005	電線管	CP 51mm	m	292.0	0.147	0.176
100001010006	電線管	CP 63mm	m	445.0	0.198	0.238
100001010007	電線管	CP 75mm	m	546.0	0.231	0.277
-	データの終わり					

③の【データの終わり】をクリックし、選択したら④のアイコンをクリックすると空の部材項目がリストの最後尾に作成されます。

Material Setting dialog box. Fields include: 名称(N): テスト, 規格(S): 123, 単位(U): m, 基本単価(K): 1000, 歩掛(B): 歩掛1, 歩掛2, 歩掛3, 歩掛4, 歩掛5. Buttons: ⑥ OK, キャンセル, ヘルプ(H).

部材情報  
分類マスター(M): ---  
コード(C):

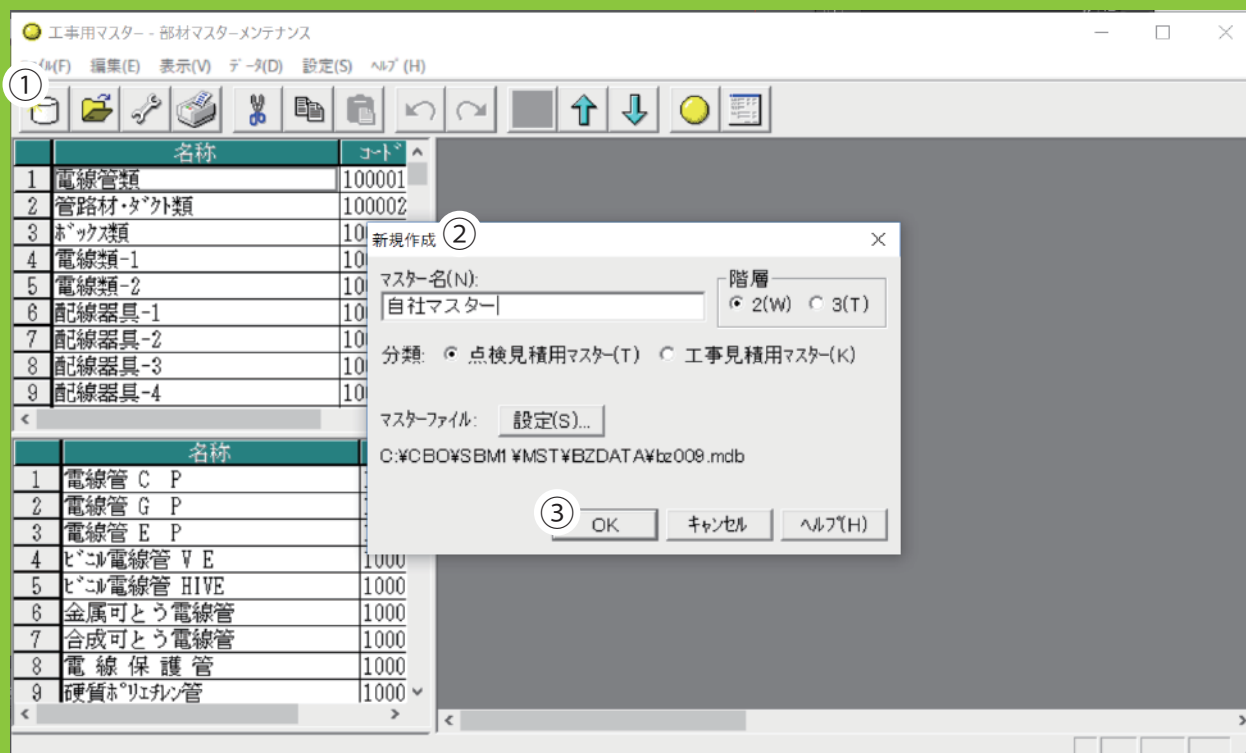
新しく作成した⑤の項目をダブルクリックすると左の画像のような【部材の設定】が表示されます。

名称、規格、単位、単価を入力したら⑥の【OK】ボタンを押して編集画面を閉じるとマスター更新の確認が表示されます。そこで【はい】を選択するとマスターが更新され入力した部材が反映されます。

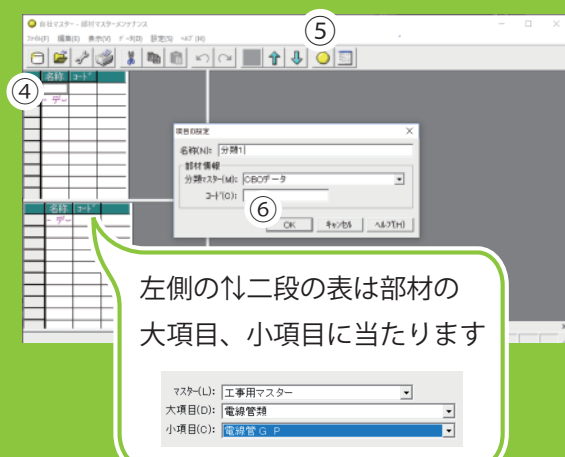
※部材は空の項目に直接入力する方法と既存の部材をコピー→貼り付けを行い、書き換える方法でも作成することが出来ます。



## ・部材マスターの新規作成

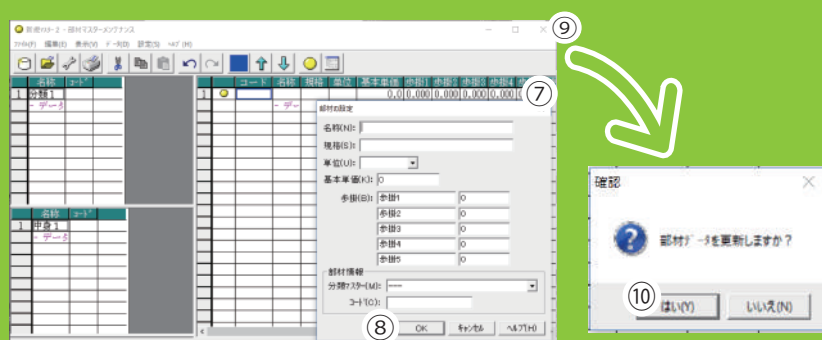


マスターを新規に作成します。まず、部材の追加登録と同じように【部材マスターメンテナンス】を開き①のアイコンをクリックします。次に新規作成の画面からマスター名の入力と分類の選択を行い【ok】をクリックして新規マスターの入力画面に移ります。



左側の↓二段の表は部材の大項目、小項目に当たります

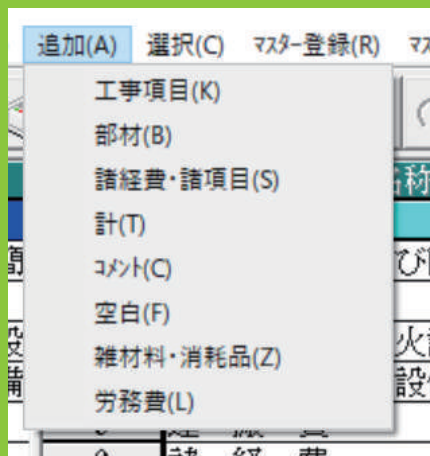
次に④の左上にある表の【データの終わり】欄をクリックし、⑤のアイコンを押すと空の項目が作成されます。その項目をダブルクリックすると【項目の設定】画面が表示されます。さらに、下の表にも上記と同様の作業を行うと右に部材を入力する表が表示されます。



最後に部材を入力後【閉じる】を押すと確認画面が表示されます。そして【はい】を選択すると部材データが反映されます。



## 5. 他項目の挿入



メニューバーの【追加】から追加したい項目をクリックすることで、作成している見積書にそれぞれの項目を挿入する事が出来ます。

※追加から挿入入力した工事項目や部材はマスターへは登録されません  
登録する場合は【部材のマスターメンテナンス】から入力が必要です。

工事項目、部材・・・空の項目を挿入します。主に特価など普段使用しない物に使用します

諸経費・諸項目・・・調整費や労務費など各種費用を選択することが出来ます

計・・・工事項目の中に合計や小計を挿入

コメント・・・見積書にコメントを書き込みます

空白・・・任意の行に空白もしくは区切りを挿入できる


雑材料・消耗品・・・雑材料・消耗品率を設定します。

また小計に補正をかけ金額を丸めることが出来ます。。

労務費・・・労務費の項目を挿入します

## 6. 出精値引き


出精値引き計算		
	見積予算	実行予算
出 精 値 引:	1000	0
最終決定請負額:	354729	315777
総 合 計:	354729	315777
	( 355729 )	( 315777 )
<div>OK    キャンセル    ヘルプ* (H)</div>		

メニューバーの【選択】から【出精値引きの設定】もしくは  のアイコンから呼び出すことが出来ます。


出精値引のテキストボックスへ直接入力その他提示したい総合計額を入力する事で値引き額を逆算することも出来ます。

## 7. 保存



メニューバーの【ファイル】から  
【名前を付けて保存】もしくは  
【上書き保存】また、ツールバーの   
アイコンからも上書き保存ができます。

## 8. 印刷

メニューバーの【ファイル】から【印刷】を選択  
もしくはツールバーの  アイコンから印刷を行う事が出来ます

The screenshot shows the '印刷' (Print) dialog box. It has a title bar '印刷' and a close button. Inside, there's a section for '印刷タイプ(P)' with radio buttons for '標準(G)', '登録(R)', '見積(E)', and '登録(Z)...'. A dropdown menu shows 'Cタイプ(縦)' with a callout 2. To the right, a list shows 'A4 見積書' (callout 1), 'A4 請求書', 'B5 見積書', and 'B5 請求書'. Below this are fields for '見積番号(N):', '表題(T):' (with a dropdown and callout 3), '日付(D):', and '日付(Y):'. Then '顧客名(C):' and '敬称(K):' (with a dropdown and callout 5). Below that is '金額見出し(A):' with a dropdown (callout 6) and a table for 'その他(O)'. The table has two columns: text and a numerical value. The '工事概要(L)' section is highlighted with a red box and callout 7, containing fields for '工事名:', '工事場所:', '有効期限:', and '備考:'. At the bottom, there are buttons for '自社名(J)...', '詳細(I)...', '既定値設定(M)', 'フリンク設定(S)...' (callout 8), 'フォーム編集(F)...', '文字列制限(U)...', and '退避・復元(B)...'. At the very bottom are 'OK' (callout 9), 'キャンセル', and 'ヘルプ(H)' buttons.

### ・各項目の編集内容

- ① 用紙のサイズと形式を選択します
- ② 印刷タイプを選択します
- ③ 表題の名称を入力選択します
- ④ 見積、請求書を提示する相手先名を入力します
- ⑤ 敬称を入力、選択します
- ⑥ 金額見出しが選択できます
- ⑦ 見積した物件とその内容条件などの入力ができます
- ⑧ 見積書に関する詳細設定が可能です

⑨の【OK】を押すと印刷プレビュー画面へ移動します。問題がなければ左上にある【印刷】のアイコンクリックで作成したデータが印刷されます